

三番瀬カレンダー制作

【支援金確定額：196,917円 支援率：50%】

記入日：平成27年3月31日

■どのような活動をしている団体ですか？

三番瀬は、船橋市・習志野市・市川市・浦安市に囲まれた海、東京湾の最奥に位置しています。広範囲に埋め立てられましたが、残っている干潟・浅海域には今も魚や貝が育ち、これをとる漁業、海苔養殖などが続けられています。季節に応じて多くの種類の渡り鳥もやって来ます。このような海域が大都市に隣接して存在している事は全国的に注目されています。

この三番瀬の景色、鳥、魚、花等自然の姿や漁業の現場、遊びの様子、そして三番瀬に関わる文化財などの写真を月ごとのカレンダーの形式で編集し、船橋市立小学校や公民館等に寄贈し続けて来ました。経費とすべく一部は書店等で販売もします。



【2015年カレンダー(表紙・夏の富士山)】

■事業提案型支援金をどのように活用されましたか？

支援金は2015年カレンダー「2015三番瀬で会いましょう」制作：編集、印刷費用の一部に充てました。見開きA3版(上写真A4・下カレンダーA4毎月別)で、これを一昨年・昨年と同様に市立小学校全級、公民館、児童施設等に寄贈させていただく事ができました。

また、拡大コピー作成費用の一部としても活用させていただき、船橋市役所1階ロビー、船橋本町通り商店会展示場で「拡大コピー写真展」を催す事ができました。船橋市役所では他の写真(鳥、漁業など)や生きた魚・カニ等も見いただき、カレンダーは導入役として関心を持って見ていただきました。



【9月カレンダー拡大版等写真展 船橋市役所1階で来庁者に見ていただきました】

■事業を実施することで、どのような成果がありましたか？

3年間ご支援を継続していただいたお陰で小学校全学級へのカレンダー寄贈を継続できたこと自体が大変大きい成果であったと言えます。「船橋市の目の前かけがえのない自然の環境が今もある」という情報を子どもたちが日常生活の中で目にすることができました。また、公民館等でカレンダーを見た方が展示について実行委員会に連絡をくださるようになった事など、公益活動として市民の方々にも認めていただく事ができたのではないかと考えます。3年間のなかで「事業としての自立」への道筋を作ろうと図り、事業の趣旨をご理解くださる企業、個人のご協力も少しずつですが増えて来ています。



【各月のカレンダー拡大版 2015年のカレンダー写真はこの時が初披露でした】

■今後の活動の抱負について

カレンダーの制作、こども達への情報発信のため小学校中心に寄贈、一般市民の方に向けての写真展開催という一連の活動は、実行委員会の基本的な活動として継続したいと考えております。

カレンダー制作は7年間継続しており、資料として見ることもできるようになったと思われしますので、今後は拡大パネルの展示の場を拡げることも重視したいと思います。3年の間にその活動まで着手出来なかった点は残念ですが、いただいたご支援の積み重ねを今後の活動に十分に活かして行く事ができると考えております。3年間ありがとうございました。

■問い合わせ先：代表 田原 悦子 (たはら えつこ)

TEL：090-2457-7102

E-mail: et-higashihunabashi@mild.ocn.ne.jp